

令和 7 年度 第 1 回総合教育会議 議事録

会議名称	令和 7 年度 第 1 回総合教育会議
開催日時	令和 7 年 8 月 1 日（金） 10 時 00 分～11 時 05 分
会 場	芦屋町 本庁舎 2 階 議会棟第 3 委員会室
委員の出欠	【委員】 町 長 波多野 茂丸 〔出席〕 教 育 長 三桵 賢二 〔出席〕 教育委員 長戸 隆弘 〔出席〕 教育委員 井上 弘行 〔出席〕 教育委員 森山 真奈美 〔欠席〕 教育委員 佐伯 慎也 〔出席〕 【委員以外の出席者】（オブザーバー） 副 町 長 中西 新吾 学校教育課長 木本 拓也 生涯学習課長 本石 美香 芦屋釜・歴史文化課長 新郷 英弘 【事務局】 企画政策課長 本郷 宣昭 企画政策課 企画係長 矢野 健太 企画政策課 企画係 田中 裕也
議題	1 芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について 2 その他
合意・決定事項	○「芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書」の内容について了承される。 ○次回の会議は 2 月開催。次年度の取り組みについて説明予定。 緊急の事案があれば、その都度開催する。
傍聴者	なし

令和 7 年度 第 1 回総合教育会議 議事録

1 町長あいさつ

本日は大変お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。

今年度初めての総合教育会議となり、議事は 1 点で芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書となっている。

今後の芦屋町の教育のため、皆さんの忌憚のない意見をお願い申し上げます。

2 議 題

(1) 芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について

【資料 1】令和 6 年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書

【資料 2】令和 6 年度芦屋町教育大綱プラン（評価）

【資料 3】「令和 6 年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価」についての意見書

- 主に、学校教育に関する事項は三桝教育長、社会教育に関する事項は本石生涯学習課長、歴史・文化に関する事項は新郷芦屋釜・歴史文化課長より説明。

【意見など】

- 「時間を守る、丁寧な言葉を使う、掃除は時間どおりにとりかかり、すみずみまで行う」といった学校の決まりを「全校で取り組んだ」とあるが、これは芦屋町の全学校における基本的な取り組みということで良いか。また、意見として、各学校が独自に行っている特色ある取り組みも、良いものは共通の取り組みとして、全体で取り組んでいくべきではないかと思う。

⇒ 町内 4 校のうち 3 校ではほぼ実施できているため、残りの 1 校が重点的に取り組んだ。また、従前から、芦屋町では「身構え・物構え・心構え」を大切にしてきた。これからも全体的に取り組んでいく。

- 芦屋町の小中学校で行われているあいさつ運動により、各所で語先後礼が徹底され良い状態が続いている。先日、保育園での祖父母学級の活動参加者が感動していた。小学校入学前の園児に小学生が見本を見せるなど、誇りを持ってあいさつをする文化が醸成されていると感じる。これは芦屋町の特徴としてぜひ継続してほしい。

⇒ 芦屋町では、中学 3 年生がすべての憧れのモデルとなることを考えている。

また、小学校の児童会役員が中学校の生徒会に依頼し、中学生が出身小学校を訪問してあいさつ運動を行っている。この取り組みを継続し、今後も伝統として大切にしていきたいと考えている。

- 社会教育の課題として挙げられている「今後の情報発信」や「若年層の参加促進」について、現状でどのような方法で情報発信を行い、誰が担当しているのか。

⇒ 広報あしやや町のホームページ、各施設への掲示物が中心となっている。また、町の公式 LINE が各担当者で柔軟に配信できるようになったことを機に、広報あしや・ホー

ムページ・公式 LINE・d ボタン広報誌など、それぞれのツールを駆使して、都度、積極的に情報発信している。

また、参加者アンケートにおいて、イベント等を知るきっかけに関する回答では、広報あしややロコミが多いが、少しずつ公式 LINE を見たという回答も増えている。さらに、町外への発信には新聞などのマスコミも活用している。

○ 多岐にわたる情報発信が行われている中で、具体的な改善案はあるか。

⇒ 新たな情報発信ツールの導入は経費や ICT 面などの課題が考えられるため、既存ツールの発信回数を増やし、ビジュアル的な工夫などの内容の質を向上させることに注力する。例えば、チラシのデザインを工夫することで参加者が増えた事例があり、デザイン性の向上も含め、既存ツールの使い方をブラッシュアップしていく。

○ 情報発信において、SNS なども多様化する中で、どの層にどのツールが響くかといった専門的な知見が必要であり、一般企業がプロに依頼するように、予算を使って専門家に頼むことも一案ではないか。初期費用はかかっても、ノウハウを得られることや波及効果を考えると価値があるかもしれないと思った。

○ 電子図書館の活用について、学校教育での活用はまだ進んでいないということか。また、「運営協議会」とはどのようなものをイメージしているのか。

⇒ 「運営協議会」とは、遠賀郡 4 町で組織している広域電子図書館に関する協議会である。学校教育での活用についても、芦屋町だけで進めることはできないため、協議会での議論が必要となる。

また、今年度の運営協議会では、「学校教育への活用」が議題とされており、遠賀郡内では芦屋町が一番学校教育現場の ICT 整備が充実しているため、今年度より学校教育現場での電子図書館活用について、芦屋町がモデルケースとして先行して進めることが運営協議会で了承された。

現在、学校での具体的な使い方を含め、図書館長や担当係、学校教育課と連携し準備を進めている。

○ 英語教育に関して、新しい外国語指導助手と英語専科教諭による授業はどうか。また、授業の中でタブレットは活用されているか。

⇒ 今年度から新しい英語専科教諭が着任した。また、小学校の英語教育では覚える単語数が増加し、活動中心から授業スタイル中心の専科教諭に移行した。当初は ICT 機器に不慣れで苦労していたが、7 月にはかなり慣れることができ、こどもたちとの人間関係も構築され、授業は落ち着きを取り戻した。

なお、今後 2 学期から 3 学期にかけて英語教育活動はさらに充実する方向に向かうと見込んでいる。

○ 今年度、英語教育の授業を視察する機会があればぜひ見に行きたいと思った。

○ 鋳物師が実施する小中学校の卒業記念品製作について、今後も継続される予定があるか。

⇒ この事業がシビックプライドの醸成に大きく貢献していると考えており、全国的にも芦屋町にしかない取り組みであるため、継続していきたい意向である。しかし、錫の価格高騰が続いているため、今後、鋳物師と相談し、値上げが必要か、あるいは町からの補助も視野に入れ検討していく。それでも継続する価値のある事業だと捉えている。

○ 「こどもあしや学」のリーフレットが素晴らしい出来であり、大人から見ても感動す

る。しかし、大人向けの芦屋の史跡や見どころを紹介するリーフレットがないため、大人版の作成を検討してほしい。こども版の内容をベースに、大人向けに文言を加えることで、芦屋町を訪れる大人にとって有益なものになるだろう。

⇒ 現在検討している。大人向けのまとまった資料が少ないという現状を認識しているため、地図が入ったような「まち巡り」ができる資料の情報収集をしているところであり、遠くないうちに実現させたい。

(3) その他

○ 今年度、芦屋町の小学校では、熱中症対策のためプール授業が中止されている学校があるが、中学校では中止がなく、芦屋東小学校は外部委託による屋内プール利用のため、中止がない。これは公平性に欠けるのではないか。全小中学校のプール事業を外部の業者に委託することはできないか。近隣の岡垣町などもそうしていると聞く。

⇒ 芦屋東小学校は、もともとプールの躯体状態が悪く利用ができなかった。このため、修繕費用と外部委託費用を比較し、外部委託の方が総経費が安く、専門指導による教員の負担軽減とこどもたちの水泳能力向上につながるため、委託に踏み切った。

プール授業の中止について、文科省が正式に定めているガイドラインはないが、水泳連盟の基準を参考としている。また、文科省からの通知などによると、熱中症警戒アラートが発令された場合は屋外活動を中止する旨が通達されている。これらを踏まえて、各学校において中止する判断をしている。

今年度、芦屋小学校と山鹿小学校では、プール授業の中止が相次いでいる状況。学校教育課においても実態を調査し、8月の校長会でこの件を議題として対応を検討していく。

外部委託は選択肢の一つだが、特に芦屋小学校のプールは令和2年度にリニューアルするなど、問題なく利用できる状況である。仮に委託しないとしても、熱中症対策として何ができるかを検討していく。

○ こども達からすると、暑いからプールに入るという感覚になるのではないか。屋外活動ではあるが、熱中症警戒アラートが発令された場合、必ず中止しなければならないのか。

⇒ プールサイドはコンクリートとなっており、輻射熱などの問題により体調不良者がでたという案件も聞いている。休憩するにしても屋根があるわけではなく、小学6年生と1年生では体格差もあることから、学校としては慎重な対応を行っている。

○ 全ての学校が時期に関係なくプールを利用できる、町民プールができると良いなと思った。

[事務局]

○ 回目の会議は来年2月開催。次年度の取り組みについて説明予定。緊急の事案があれば、その都度開催する。